

古今和歌集・新古今和歌集

年 組 名前

次の①～⑥の歌を詠んだ人物をそれぞれ書き入れなさい。
また⑦～⑫には、まとめた代表人物とできた時代を書き入れなさい。

古今和歌集

人はいさ心も知らずふるさとは花ぞ昔の香ににほひける

①

秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる

②

思ひつつ寝ればや人の見えつらむ夢と知りせば覚めざらましを

③

新古今和歌集

道の辺に清水流るる柳かげしばしとてこそ立ちどまりつれ

④

見わたせば花も紅葉もなかりけり浦の苫屋の秋の夕暮

⑤

玉の緒よ絶えなば絶えねながらへば忍ぶることの弱りもぞする

⑥

万葉集

古今和歌集

新古今和歌集

歌の数	巻数	できた時代	まとめた人物
約4500首	20巻	⑧ 時代	⑦

歌の数	巻数	できた時代	まとめた人物
約1100首	20巻	⑩ 時代	⑨

歌の数	巻数	できた時代	まとめた人物
約2000首	20巻	⑫ 時代	⑪

得点 /12

万葉集

年 組 名前

次の短歌・長歌の作者名・名称を答えなさい。

⑤は④の長歌の後に読まれる短歌の名称を答えなさい。

⑧・⑨には作者名ではなく短歌の総称を書きなさい。

① 春過ぎて夏来るらし白たへの衣干したり天の香具山

② 東の野に炎の立つ見えてかへり見すれば月傾きぬ

③ 君待つと我が恋ひ居れば我が屋戸のすだれ動かし秋の風吹く

④ 天地の 分かれし時ゆ 神さびて 高く貴き 駿河なる

富士の高嶺を 天の原 振り放け見れば 渡る日の 影も隠らひ

照る月の 光も見えず 白雲も い行きはばかり 時じくそ

雪は降りける 語り継ぎ 言ひ継ぎ行かむ 富士の高嶺は

⑤ ※⑥は長歌の後の短歌

⑥ 田子の浦ゆうち出でて見れば真白にそ富士の高嶺に雪は振りける

⑦ 憶良らは今は罷らむ子泣くらむそれその母も我を待つらむそ

⑧ 多摩川にさらす手作りさらさらに何そこの児のここだ愛しき

⑨ 父母が頭かき撫で幸くあれて言ひし言葉ぜ忘れかねつる

⑩ 春の園紅にほふ桃の花下照る道に出で立つをとめ

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

得点 /10